

## 基本構想（原案）に対する意見一覧

No.	意見	市の考え等
1	<p>（資料1:将来都市像別政策） P24:次代を担う子どもの育成 県の総合戦略案では、第3子が生まれた場合に第2子以降の保育料を無料化するとしているが、それでは現在第3子以降の子どもを育てている家庭に対して不平等であることから、市の助成拡大を検討いただき、0歳から5歳まで（兄弟の年齢制限なし）又は中学3年生まで（年齢制限あり）での保育料無料化をお願いしたい。 そうすることで、秋田県への移住検討者に、県内でも本市にしようと考えてもらえる一因になるのではないかと。</p>	<p>ご意見も参考にしながら、今後の施策を検討してまいります。</p>
2	<p>（資料1:将来都市像別政策） P7:商業・サービス業 ①新屋高校の近くに、大型のショッピングセンターを建てて欲しい。 P11:観光 ②仙台の「るーぷるバス」のように、市の名所を巡る観光バスを走らせると良いと思う。 P23:障がい福祉 ③全ての障がい者に、タクシー券を配布して欲しい。また、サンライフや老人と子どもの家の入浴を、年齢にかかわらず、障がい者も入れるように許可して欲しい。 P28:社会教育 ④図書館やサービスセンターで、パソコンを無料で教えて欲しい。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
3	<p>（資料1:将来都市像別政策） P7:中小企業経営 ①中小企業がどうしたら活性化するか、もっと突っ込んで考えなければならない。活性化とは端的に売上を上げることであり、商店街単位ではなく、個々の店舗の状況を把握することが重要で、コンサルなど専門家の指導受け、個別の課題への対応を図るべきである。創業支援に退職者対策を関連させ、知識、経験、技術を持った退職者を利用し、やる気につなげ、創業リスクの軽減を図ってはどうか。 ②秋田市のまちづくりに関して、50年後、100年後を考えた基本コンセプトが欲しい。現状は、特にハード部分の立ち遅れが目立つ。先進市である富山市を参考にしてはどうか。</p>	<p>①いただいたご意見については、推進計画等により事業を進めていく上での参考とさせていただきます。 ②いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
4	<p>（資料1:将来都市像別政策） P6:企業誘致 ①地球温暖化抑止に逆行する火力や、国民の反対の多い原子力などではなく、秋田は雪国で水量も多いことから、災害にも強い小規模水力発電企業を誘致してはどうか。 高齢化により施設入所希望者・待機者の増加が見込まれることから、自宅での使用を想定した歩行補助器具の製品化を担う、医療機器企業を誘致してはどうか。 屋根の雪下ろしによる死者等を減らすため、屋根の融雪器具企業を誘致してはどうか。 P8:雇用 ②現在の市役所の職員構成では10～15年後に業務に支障を来すことから、市職員は再雇用せずハローワーク等々で求職すべきであり、その分若者を採用し育てていくべきである。若者が増えることで新たな提案がなされ、活性化すると思う。 P18:安全な生活の実現 ③職員の居住地域別に連絡網を作成し、休日や夜間の災害予測時に迅速に対応できる体制が望ましい。 P24:若い世代 ④生み育てたいと思う人の不妊治療費助成については、年収の上限を廃止すべきである。また、年齢制限については、女性の身体状況上やむを得ないと思うが、主治医の判断に委ねることが望ましいと思う。 P28:学校教育 ⑤以下について、学校（一部幼稚園含む）教育に関する条例を制定してはどうか。 集中力の欠如予防、裏サイト等でのいじめ防止、犯罪から守るため、スマホ・携帯の学校（高校まで）への持ち込みを禁止する。 全学校（幼稚園含む）の共通理念として、「弱い者いじめはしない」「年下の子の面倒を見る」「ならぬことはならぬ」の教えを策定し、幼少期から繰り返し教え込むことにより、いじめ・不登校を減少させ、校内暴力・非行・犯罪の減少につなげ、加害者が出ないような教育に重点を置く。（起きてしまったいじめによる自殺や不登校への対処に力注いでいるように見受けられる。）また、ひとり親家庭では、精神的な不安定さが虐待につながり、心の傷が子どもに影響を及ぼすことも多いことから、小中学校で家庭・地域の大切さを教える。（学校だけではなく、まずは家庭で親が教えることと思う。母子手帳や広報に掲載してはどうか。） 進学率が100%でない限り、選挙権教育を義務教育期間中の中学校で実施する。</p>	<p>①いただいたご意見については、今後の企業誘致を進めていく上での参考とさせていただきます。 ②いただいたご意見も参考にしながら、今後も効率的な業務執行体制を確保してまいります。 ③災害時に職員が適切な活動を行うため、組織および役割分担を定めております。また、連絡網については、職員への一斉メール配信システムを整備しております。 ④年収の上限、また平成28年度からの年齢制限は、国の制度に準じているところでありますが、いただいたご意見については、今後の市独自助成の内容を検討するなかで、参考とさせていただきます。 ⑤スマホ、携帯電話の学校への持ち込みについては、全ての小中学校で、特別な事情がある場合を除き禁止しており、また、高等学校においては、授業中の使用は認めていない状況にあります。いじめ問題については、秋田市のいじめ防止基本方針および各校の学校いじめ基本方針に基づき、「いじめは決して許されない行為である」との認識に立ち、家庭・地域と連携しながら、未然防止や早期発見に努めているところであります。また、中学校では、学習指導要領に基づき、社会科の学習において、民主政治の仕組みや議会の役割、選挙権を正しく行使することの重要性などについて学習するなど、社会への参画意識を高める指導の充実に努めているところであります。今後も、これまでの取組のさらなる充実を図り、子どもたちに自立と共生の力をはぐくんでまいりたいと考えておりますので、現時点では、条例を定めることは考えておりません。</p>
5	<p>（資料1:将来都市像別政策） P11:観光 企業からの出張客や観光客がいる中で、中心部だけが取り上げられ、まだまだ秋田の魅力や見所が伝わっていないのが現状であることから、他県などからの来客に対し、もっとチャンスを生かした活動をしていくべき。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見	市の考え等
6	<p>(資料1:将来都市像別政策) P20:保健・医療、P23:高齢者福祉 ①健康寿命を延ばすため、各市民サービスセンターにおける健康や趣味の教室が充実してきており、大変良いことだが、集約化されることによって、車を持たない高齢者等にとっては縁遠いものになっているように思われることから、より小さい単位の各コミセンにおいても、年間を通じた健康体操等の教室を実施し、有効活用してほしい。 P26:文化・芸術活動 ②現在活動している団体でも、運営に苦慮しているところも多いようである。一例として、安い会費で秋田に居ながらにして、中央の演劇等を観られる会であっても、会員数が減少傾向にあることから、将来への不安がある。それぞれの団体の頑張りを発展させ、次世代につなげられるような方策も必要と思う。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
7	<p>(資料1:将来都市像別政策) P17:交通機能 ①バス時間と電車時間は連携すべきであり、連携してこそ交通である。また、バスの利用者が少ない地域では、例えば、通勤・通学・通院など、利用時間に合わせて運行したり、特に高齢者については、曜日や行き先を決めて乗り合いでタクシー（バスと同額）を利用したりしてはどうか。 P11:まちのにぎわい ②駅前周辺の駐車料金について、一定額以上の買物で何時間無料などのサービスもあるが、毎回条件を満たす訳ではないことから、無料駐車にして欲しい。例え、お金を落とさずとも、まず人を呼び込み、人の流れを生み出した方が良くと思う。 P10:農林水産業 ③六次産業に力を注いでいる市や県の取組が見えてきているため、とても嬉しい。災害時にはお金があっても食料がなければ生きていけず、中央を頼れないことから、本県で生き抜く力を養っていかねばならず、地産地消にこれからも力を注いでもらいたい。新たな野菜の栽培・全国販売の努力も必要と思う。野菜、肉以外の食料品についても、もっと秋田産のものを販売し、他県より安く提供してほしい。食べ物が高くても美味しいことが、生活のしやすさや健康に良い県とアピールでき、移住者も増えるのではないかと。また、食の健康から医療の充実を目指してはどうか。1つの病気の専門医を増やし、他県との差を生み出し、強みをつくることも良いのではないかと。中学生に医療現場を体験させるのは良い取組であり、医師を目指す子どもが増えたら良いと思う。経済的理由で諦めることのないよう、優秀な子どもには補助金制度などを作ってサポートし、より多くの医師が本県から生まれると良いと思う。</p>	<p>①公共交通を利用される方にとって、バスと電車の乗り継ぎがスムーズであることは、快適に利用する上で重要な要素であることから、今後とも、関係者間で連携してまいります。 また、本市では郊外部において、路線バスの廃止代替交通としてマイタウン・バスを運行しております。利用者が少ない路線では予約式により運行しており、ダイヤ等については、地域の実情を考慮し、地域の関係者等で組織する運行協議会で協議の上、決定しております。</p> <p>②③いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
8	<p>(資料1:将来都市像別政策) P3:基本理念 ①副題の「次世代に」を「今の世代に」とし、今の世代で実現することが次世代に引き継がれていくと思う。 P11:まちのにぎわい ②中心市街地には、「にぎわい」のある「まち」が絶対に必要であり、商店・市民が一体となって昼夜問わず店を開き、人がぶつかり合う「にぎわい」をつくり、それが「まち」発展の原動力となる。 P15:景観形成と都市緑化 ③千秋公園の清掃ボランティアをしているが、名物の桜が老朽化し勢いがなくなったことから、早めの手当をお願いしたい。 P22:家族や地域を支える絆づくり ④80代の一人暮らしであり、民生委員の思いやりの気持ちに感謝している。地域の絆が強いことを実感し、そのような心温まる組織活動に感謝している。</p>	<p>①②④いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p> <p>③千秋公園の桜については、「千秋公園さくら再生基本計画」に基づき、平成24年度から、老木化した桜の根周りに施肥をするなどの樹勢回復に着手しており、今後も引き続きさくらの再生に取り組んでまいります。</p>
9	<p>(資料2:成長戦略) P2:戦略2 ①他に負けない多くの観光資源を見直し、秋田県内がタッグを組んで売り込んでいって欲しい。(千秋公園、フジタの絵画、ねぶり流し館、赤れんが郷土館、市民市場、美大のガラス、国際教養大の英語(外国船が入港した際の学生の協力など)、稲穂揺れる風景、大森山動物園) P4:戦略4 ②地域で子育てボランティアをしているが、子どもは秋田の宝である。皆で特に母親に声をかけ、支えてあげたいと思っている。秋田は子育てをしやすい環境にあることをアピールし、若い人に安心して結婚し、子育てしてもらえる日本一良いところだと強くアピールしていく。</p>	<p>①ご意見のとおり、県や他市町村との連携により推進してまいります。</p> <p>②いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
10	<p>「住みたくなるまちとは」との観点から考えること ①若者の流出を防ぎ、地元への定住化を促進するため、働く場所をつくるのが肝要である。 ②中心市街地のにぎわい創出のためには、安価な駐車・駐輪スペースを確保し、人的な流動を生み出すことが必要である。都市計画の中に交通インフラ整備とともに、公共の大規模駐車スペースが約束されていることが必然であり、ハードはもちろん経済性を兼ね備えた車が循環しやすいソフトの運用も重要である。 ③雪の克服のため冬場の除排雪作業員が夏場に土木作業の担い手に切り替わるような企業体を構築することが重要である。なお、オペレーターの育成と能力は、林業への参入へと結び付く可能性もあるのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
11	<p>基本構想のため仕方ないかもしれないが、全体として具体案に乏しく、実際にはどのように行っていくのか理解できかねる。</p>	<p>具体的な取組については、推進計画で反映させていただきます。</p>

No.	意見	市の考え等
12	<p>(資料1:将来都市像別政策) P7:中小企業経営 「取組の方向」にある「本市の強みや特色、潜在力」とは、具体的にどのようなことを指しているのか。</p>	<p>具体的には、「地域特性として自然災害のリスクが低く、大災害発生に備えた首都圏や太平洋側のリスク分散の受け皿となる。」「交通の利便性として陸、海、空の交通結節点を備えている。」「人材として粘り強く勤勉である。」などがあげられます。</p>
13	<p>(資料1:将来都市像別政策) P18:安全な生活の実現 ①土崎相楽地区では、地震や津波等災害発生時の対応に非常に大きな関心を持っている。防災マップでは避難ビルや避難場所が示されているが、実際に何人辿り着けるのか、また許容人数が限られているため高齢者が多い地区では遅れをとったら他に行く場所がないという大きな問題に直面する。 現在、土崎地区ではまちづくり拠点施設の計画が進められており、その重要性は理解できない訳ではないが、市民の安全を確保し、同地区が晒されている危険な状況を解決していただきたい。 ②そのために、ひとつは道路整備（安全安心な歩道付き幹線道路）の早期実現を提案する。道路については、数十年前から都市整備計画があるにもかかわらず、工業団地の整備だけが進み、年々増す大型車両や通勤車両により交通事故だけではなく道路の損傷や老朽化で危険性が増大している。港湾地区には、石油コンビナートや化学工場が点在しているため、災害時の緊急車両の通行に適していない箇所も多く、さらに一般住宅地と隣接しているため住民の不安も大きい。基幹道路ではないため除雪作業が後回しになり、除排雪ダンプは多く走るのに、住民は海岸沿い独特の吹き溜まりや気温差による融雪被害による交通障害を強いられている。 ③二つ目に、避難用高台公園（海拔20m超/ドーム型多目的室内運動場/ヘリポート）の設置を提案する。近隣避難ビルの少ないキャパシティや機能を補い、夜間帯の利用にも非常に効果的かつ有効と考える。この地区は、高層ビルも高地も数km先まで全くなく、生涯不安を抱えたまま生活し続けなければならない。費用はかかるであろうが盛り土で人口台地を作り、木を植え、根の張った高台であれば、コストも一時的なもので将来的に必要以上にかからないのではないかと考える。国の災害対策補助金等を利用し、県とも協力して設置していただきたい。モデル事業として、国直轄事業として計画し、災害・救難拠点、公園、ランドマーク（文化施設をそこに設置しても良いのではないかと）としての活用が期待できる。文化的な建築物を漠然と建てるのではなく、未来永劫に残される工作物として住民や市民に評価されるのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
14	<p>(資料1:将来都市像別政策) P15:景観形成と都市緑化 雪害さえなければ、自分にとってはとても住みやすい地域である。「太平山の裾野が見渡せる田園風景の美しい眺め」は、一番好きな場所である。これ以上、世の中が悪くならないようお願いだけである。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
15	<p>高等教育を受けさせても、それをいかせる職場がないのが残念である。 やはり高齢者が多いためか、町内会なども昔のように活発に活動することもなく寂しい。 これからの秋田を宜しく願います。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
16	<p>(資料1:将来都市像別政策) ①県内では本市に人口が集中しており、本市の人口減少対策が他市町村へ悪影響を及ぼすのではないかと。よって、人口減少対策は、県主導で行うべきではないかと。 P8:雇用 ②自分のように他県の大学へ進学する者は、あまり秋田県で就職しない。秋田県民の高い学力を活かせる教育機関が必要である。 P17:情報通信環境 ③マイナンバー制度など、ICTが身近になる一方で、サイバー攻撃、情報漏洩などの危険が増大するため、注意喚起が必要ではないかと。</p>	<p>①秋田市人口ビジョンの策定過程における分析では、本市の人口には自然増減が比較的大きな影響を与えていることから、自然減対策により力を入れていくことが効果的な人口減少対策につながると捉えており、このことが他市町村に悪影響を与えるとは考えておりません。 また、社会減対策についても、県内市町村から首都圏等へ直接流出する人口を一定程度食い止める役割を果たしていると捉えており、本県全体を牽引する県都として、県とも連携しながら引き続き取り組んでまいります。  ②③いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見	市の考え等
17	<p>(資料1:将来都市像別政策)</p> <p>P6:商工業の振興</p> <p>①秋田ほど車に依存した場所はない。鉄道、バスの終電時間帯が早過ぎるのではないかと。また、駅周辺の駐車料金の問題も大町の跡地や県庁・市役所駐車場の休日の無料開放とシャトルバスの運行など方法はないだろうか。にぎわい交流館周辺も各種屋外イベント時は一定の集客があるようだが、館内のテナントは委託業者に問題があるように思う。なぜ市民・県民は中心市街地に行かずに郊外大型店へ行くのか、真剣に考えるべきである。また、天王の道の駅の集客力に比べ、なぜセリオン周辺がダメなのか、もっと真剣に考える必要がある。このままでは、外旭川地区に大型店の出店を拒んでいる本市に市民が疑問を抱くのではないだろうか。</p> <p>P10:農林水産業の振興</p> <p>②工業誘致のように資本力のある企業の参入を認め、雇用の創出を進める必要があるのではないかと。農業雇用の道筋ができれば、それに合わせた高等教育の提供、産学連携などと組み合わせ、真の農業県(農業面積ではなく農業生産額)としての秋田が実現できるのではないかと。また、企業の参入で六次産業の振興も加速的に進むのではないかと。</p> <p>③観光についても、先日大曲の花火の翌日の出張で、新幹線内で小耳に挟んだが、市内のどこに観光場所があるか分からず、新幹線の時間までどこを見学したら良いか分からない、また、市民市場が汚くて入ろうとは思わないとの話を聞いた。青森の市場等は観光地として整備されている。新しいものをつくるのではなく、今あるものをいかに魅力的に見せるのか、考える必要がある。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
18	<p>(資料1:将来都市像別政策)</p> <p>P6:商工業の振興</p> <p>①商工業への支援策としてよく出てくるのは、商工団体が承認し行政が債務保証をする金融機関の融資制度だが、商工団体は取上実績の多さを追い、金融機関は公による保証と政治的配慮から、どちらも審査基準に目をつむって取り上げる。その結果、不良債権(公の負担)だけが残ることとなる。それならば、市や商工団体が情報を提供し、民間(県外・海外を含む)から広く直接投資を募る方法がないものか。投資者には販売権を与える等の特典も考慮し民間の調査力や商才を多方面から活用する方策を案出したいものである。(情報提供には、特許・実用新案・意匠登録など類似商品・サービス等の防止対策が前提となる)</p> <p>P10:農林水産業の振興</p> <p>②集落機能の維持が困難な地区に、独自機能の発揮や特色の創造を求めても、その地域的な特色のため過疎化したのだから、救いはない。愛郷心や郷愁の念はよく分かるが、過疎地・限界集落に居残るよりは、都市部へまとまって移転する策を講ずるべきだと思う。</p> <p>P12:移住の促進</p> <p>③移住は積極的に推進すべきだが、できるだけ若者に移住を勧める方が良いと思う。そのために本市は、都市機能の充実した利便性の高い住宅地を準備し、できるだけ安価に提供しなければならない。</p> <p>P13:環境との調和</p> <p>④公共用建造物(ホール、美術館、研修施設等)の大量生産・廃棄を排した上で、歴史的建造物の保存を厳選していただきたい。観光価値のない廃墟や郷愁は金を食うだけである。</p> <p>P15:都市基盤の確立</p> <p>⑤市街地形成の取組方向は射たもので、特に空き家対策は、条例制定等により、撤去・転売・没収などを徹底遂行し、市街地の密度充実に図っていかなければならない。</p> <p>P18:安全な生活の実現</p> <p>⑥町内活動等を通じて、災害発生時等に、どこにどのように避難すれば良いかを各人に徹底されることの大切さを感じている。防犯対策として、要所への監視カメラ設置を、重点推進項目として掲げていただきたい。</p> <p>P23:地域福祉の充実</p> <p>⑦高齢になるほど、友人・知人が減り、社会に接する窓口も小さくなっていく。社会参加する手段を見付ける力も、その意欲も低下し、孤独感を覚えるようになるが、この現実を踏まえ、老人の社会参加を促していけるのか、具体策は準備しているのか。</p> <p>P24:次代を担う子どもの育成</p> <p>⑧夫婦一組が3人以上の子どものを生み育てなければ人口は増加しないが、夫婦共稼ぎで3人以上の子育てに十分な時間が取れるものか。法的に可能でも、経済的に市内私企業は大変なことが推察される。市内保育所は賃金水準が低く、職員の異動が激しいと聞いており、保育に携わる人材の質を高める方策や、社会全体で進める子育てについての具体策は考案しているのか。</p> <p>P26:文化の創造</p> <p>⑨健康維持・増進のため、サンライフのような施設を充実・増設していただければと思う。国際交流については、将来の労働力窮乏を念頭に置いた活発化を考える必要があり、労働者の受入や貿易取引も視野に入れた友好提携を、東南アジアや東欧の都市と積極推進してはどうか。</p> <p>P28:教育の充実</p> <p>⑩秋田の大学には、農学部(営農技術)や商学部(六次産業化)があるのか。秋田にぜひとも必要な学問だと思う。</p> <p>(資料2:成長戦略)</p> <p>⑪重点プログラムの各項目について、どのように進めるかまで追究して欲しかった。また、市街地形成の具体策と、秋田市の将来の姿についても掲げてもらいたかった。</p>	<p>①いただいたご意見については、商工業施策の見直しをする際の参考とさせていただきます。</p> <p>②～⑥⑨いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p> <p>⑦高齢者が社会の支え手として活躍できる地域社会の形成がますます重要になることから、外出促進を図る高齢者コインバス事業を継続するほか、介護支援ボランティア事業や傾聴ボランティアの実施などにより、社会参加やボランティア活動への参加機会を積極的に創出してまいります。また、高齢者を含む地域の支え合い体制づくりを推進し、高齢者の地域活動の機会創出を図ります。</p> <p>⑧教育・保育に携わる人材の質については、人材全体の賃金水準の底上げを行う費用を支給しており、長く働くことのできる職場を構築することにより、質の高い教育・保育を安定的に供給していくこととしております。</p> <p>また、国や県、関係団体が開催する研修会等についても、積極的に参加するよう各施設に情報提供を行い、質の向上に努めております。</p> <p>社会全体で進める子育てについては、ワークライフバランスの実現に向け、企業や地域の理解等を促進するための広報・啓発のほか、子育て支援団体や関係者を委員とする連絡会議の開催により子育て支援のネットワークの構築など子育て家庭を応援するしくみづくりに取り組むこととしております。</p> <p>⑩秋田県立大学の生物資源科学部にはアグリビジネス学科などがあり、営農技術や6次産業化などとも関連する各種研究が行われております。</p> <p>⑪より具体的な内容については、今後策定する推進計画および秋田市総合戦略等において定めることとしております。</p>
19	<p>そもそも、人口減少はそんなに悪いことなのか。約100年から70年前の社会は、行政を頼らず、家族や近隣同士が手を携え、見守り、助け合って生きていた。高齢者の活力を生かし、若い世代との交流を密にし、互いに足らざる部分を補い合う工夫をし、人と人とのつながりや絆を深めることで、安全で豊かな生き生きとしたまちづくりに一人一人が参加し関わっていくことを目標にしてはどうか。行政の役割は、人々の意識を喚起し、寄り添っていくことである。そうすることで、秋田市は将来日本のモデル都市になり得るかもしれない。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見	市の考え等
20	<p>(資料1:将来都市像別政策) P6:商工業の振興について ①企業誘致は、何かの分野で1社のみというものと、失敗して撤退した場合、他の会社が名乗りをあげてくれるとは考えにくい。 P11:まちのにぎわい ②駅前に行く手段が車・バス・電車になるが、車は駐車料金がかかり、バスは値段が高くルートが限られ、電車は本数が多い訳ではない。しかも中通の一方通行は、初見の人にはわかりづらく、通りやすい道とは思えない。施設の充実も大事だが、もっと気軽に行けるようになることも重要だと思う。 空き店舗・テナントを一つずつ解消するより、ある程度まとまった方向性のものを集めてはどうか。中心と言いながら、生活に必要な物が揃わないため、いっそ特化させるのも一つの手であり、例えば、秋田版秋葉原のような場所にしても良いのではないか。(駅前よく電気店の場所を聞かれる)</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
21	<p>(資料2:成長戦略) P5:戦略5 重点プログラムIV ①高齢者の移動手段の確保について、往路・復路で2日に1回無料としたり、自宅から公共交通機関まで無料とするなど、タクシーの活用によって解決できるのではないかと。また、外に出やすくなることで、医療費の減少や消費活動につながると思われる。 (資料1:将来都市像別政策) ②全体としてだが、これらの課題は経済を良くすればほとんど解決すると思う。市民・県民・国民が豊かになり、消費をし、お金が循環すれば良いが、現状は対極にある。少子化・高齢化は何十年も前から分かっていたことで、施政者の無関心・無策・無実行が今の状況になったと思っており、これからも変わらないと考える。消費税を物品税にし、大企業に法人税をしっかりとかけるだけでも、かなりマシになると思う。税金を集め再分配する側の人間がお金をたくさん貰え、現役世代は高い保険と年金を支払い、税の歪さに耐え忍びつつ、嵐が過ぎるのを待つしかないのが現状である。</p>	<p>①高齢者の移動手段の確保については、高齢者コインバス事業を継続することとしており、タクシーの活用については、身体障がい者の方のみとしております。 ②いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
22	<p>(資料1:将来都市像別政策) P6:企業誘致 ①にかほのコールセンターの二の舞にならないよう気を付けて欲しい。 P10:農林水産業 ②稲作だけの時代は終わった。六次産業化に賛成である。 P11:まちのにぎわい ③セリオンのパバヘラソフトクリームは成功していると思うが、野菜や果物などでは飽きてくる。現状のリニューアルでは満足できず、また行きたいとは思わない。もったいないと感じており、もっと改革が必要だと思う。 P18:災害時の危機管理 ④台風や集中豪雨で雄物川が決壊した時の市の対応はどのようになっているのか。茨城の市長のようになって欲しい。 P26:郷土の歴史と文化 ⑤もっと発信して欲しい。 (資料2:成長戦略) P4:戦略4 ⑥人口減少や少子高齢化の圧倒的原因は、未婚化だと思う。</p>	<p>①～③⑤⑥いただいたご意見については、参考とさせていただきます。 ④市では避難判断マニュアル等を整備しており、河川の決壊等の恐れがある場合には、住民の安全確保を第一に、早めに避難勧告等の発令や避難所の開設を行うとともに、これらの情報を伝達することとしています。 なお、災害に対しては、平時からの備えが大事であり、そのため、浸水想定区域を記したハザードマップの配布、各種訓練や研修会等により住民への防災意識の啓発に努めております。</p>
23	<p>(資料1:将来都市像別政策) P11:まちのにぎわい 駐車場の数は結構あるが、割引される所があまりなく、時間の割に高い料金が掛かるため、気楽に利用できない。また、若い母親が子どもを連れて出掛ける所や学生達が集える場所も減ってきている。 高齢者の100円バスは良いシステムだが、バス停が近くにない場合はバスに乗るのが不便であり、高齢者にとって必要なイベント・娯楽等もあまりないと聞く。 結果的に、家族が揃うと郊外のショッピングモール等へ出掛けてしまうため、郊外へ新施設を求める意見が多くなるのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
24	<p>(資料1:将来都市像別政策) P22:家族や地域を支える絆づくり ①町内で一人暮らし又は空き家が増えている。人それぞれ事情があると思うが、例えば2世帯手当等があれば、若い人達の同居が増え、地域活性化につながるのではないかと。 P26:生涯スポーツ ②グラウンドゴルフをしているが、プレー場所が遠いこともあり、周りでは年齢が進むにつれやめていく人が増えている。市内中心地に自転車、バス等で10分から20分位の所に専用の場所つくっていただければと思う。</p>	<p>①家族の絆を強め、子育て世帯や高齢者世帯が安心して暮らせる環境づくりを進めるため、同居又は近居に必要な住宅の改修等に係る費用に対して補助する事業を行っておりますので、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。 ②グラウンドゴルフは生涯スポーツとして全国的に普及し、本市においても大変人気のある競技であることから、市民が気軽にプレーできる環境づくりに努めてまいります。</p>
25	<p>(資料1:将来都市像別政策) P7:商業・サービス業 (資料2:成長戦略) P1:戦略1 市が外旭川へのイオン出店に消極的なのはいかがなものか。いつまでも中心市街地でもあるまいし、事実なかないも含め、中心市街地の整備に市民は期待していない。当然、中小の個人事業主は自助努力すべきであり、それに対して市が保護するような時代ではないのではないかと。実際に個人商店等を見ると、時代錯誤のような店も未だに多く見られ、そこには企業努力が全く見られない。そのような事業者を保護するよりも、多大な雇用と経済効果のあるイオン出店を後押しした方が、より民意に応えるものと思われる。多くのパイを吸収するのに中心市街地ではもはや限界であるという認識で先に進めていただきたい。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見	市の考え等
26	<p>人口減少に歯止めをかけるには、子育て世帯に対する補助や、安定した雇用が重要だと考える。雇用に関しては、大企業の誘致など、具体的なことが記載されていて非常に良かったが、一方で子育てに関しては、子どもを育てやすい環境づくりとしか記載されておらず、具体的に何をしたいのかももう少しはっきりさせた方が良く感じた。</p>	<p>具体的な取組については、推進計画で反映させてまいります。</p>
27	<p>(資料2:成長戦略) P2:戦略2 ①秋田県の地形上の事情として、高速道路時代になり、県北～弘前・盛岡方面、県央～酒田方面、県南～仙台・山形・北上方面に大きく人の流れが変化した。本市へは、会議など特別用事がない限り来ないのが実態であり、集客人口は大きく減少しているが、市のまちづくりの基本方針はコンパクトシティであり、この程度では県内での集客にいたらないと思われる。外旭川地区に計画されている商業施設位の規模でなければ、県内・県外からの集客は期待できないと思われる。コンパクトシティだけでは、本市の再生は不可能である。決めつけず、外旭川地区の計画を市民全員で検討すべきであり、又特に市長・市会議員の皆様は、子や孫の将来のためにも政治家としてだけでなく市民として本市将来のために正しい判断をしていただきたい。 ②スポーツは強くなければ経費をかける意味なし。継続するのであれば、お金を掛けて強くしていただきたい。 (資料1:将来都市像別政策) P11:観光 ③農家民宿・農家レストランの展開、大森山動物園ショー等規模拡大、観光バスが立ち寄る施設場所、修学旅行の誘致、外旭川地区大型複合商業施設の誘致 P11:まちのにぎわい ④中心市街地の無料駐車場の確保、中心市街地に総合病院・老人施設の誘致、全国規模の会議・行事の誘致、道の駅秋田港を東北No.1規模にする、雪に強いまちの確立(まだまだ全県一悪い)、移住者への条件を全国一良くする</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
28	<p>(資料1:将来都市像別政策) P8:雇用 ①正規雇用が増えることが望ましいが、景気の回復を受けても、非正規雇用の多い状況の解消は困難である。高齢であっても受け入れたり、子育て中の女性が働きやすい環境の実現が必要である。求人情報を見ると夜勤、三交代などが多く募集されている。子どもを時間や年齢に関係なく預けられる施設があれば、労働力の確保に通じると思う。 P12:移住の促進 ②市外からの移住のきっかけに進学があり、国際教養大に外国から来た学生の定住がポイントと考える。将来は市内企業の海外ビジネス等に、外国人だからこそ見える商材の発見や、販路開拓の可能性が期待できる。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
29	<p>(資料1:将来都市像別政策) P11:まちのにぎわい ①現時点での市内のにぎわい圏は殆どないと同然と思っている。先日の県市連携文化施設の建替構想実現で幾らか変わると思うが、エリアなかいち周辺、特に中の店舗に疑問がある。ある飲食店は昼頃にいつ行っても閉まっているか予約で一杯の表示が多く、別の飲食店は午後の僅かな時間で閉まってしまうし、農産物は品数が少なく、買物に行くのは近所の人くらいかと思われる。また、美容店の面積は特に大きい、いつ行っても人影は少なく、一日にどの位のひとが訪れているのかと思っている。市内で最もにぎわいが必要な場所であるような感じでは、本市のにぎわいはいつまでたっても期待できないと感じるが、市としても満足はしていないと思うが、如何に感じているのか知りたい。 P12:移住の促進 ②今回の県・市の計画で駅前の中丸山支社建替を機会に、その跡地に移住者の建物を建設する構想を見たが、悪いことではないが、当然市内のトップ用地であり、地価も高く経費は莫大かと感じている。 また、元「ホテルハワイ」の建物が市内中心部に三カ所あり、その建物・土地の利用方法がないのか疑問に思っている。 ③県民会館の改築・同駐車場の建設にも関連するが、和洋高校の移設の希望も聞くが、その用地の活用は無理なのか。 P13:地球温暖化、P18:災害時の危機管理 ④地球温暖化対策の一つとして、宅地への植木の植樹並びに盆栽づくりによる緑化もその一つと考える。それに必要な水量は相当なもので、水道料金も相当な金額となることから、市が雨水の貯水槽(100～200L)設置を推奨し、補助をすることで緑化が推進され、水道料金は減となるが、温暖対策並びに防火用水対応にもなるのではないかと考える。 P15:景観形成と都市緑化 ⑤広小路の歩道に建っている赤い柱が、イベント時に旗などを掲揚している時以外は、その天辺が余りにも飾りがなく、何か飾りが必要ではないか。 P19:防犯対策 ⑥最近の事件での犯人の発見、逮捕の決め手が監視カメラによることの多さに感心しており、本市でも、要所に事故防止を含めて監視カメラの増設をお願いしたい。</p>	<p>①リニューアルされた商業施設は、平成27年4月以降、1日平均約4,000人の利用があります。売り場面積が2,900㎡と小さいこともあり、大きな集客力はありませんが、にぎわい交流館、県立美術館と合わせ、にぎわいづくりに一定の役割は果たしていると考えております。</p> <p>②④～⑥いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p> <p>③同地は民有地であり、実際に高校として使われていることから、現在のところ検討の対象としておりません。</p>

No.	意見	市の考え等
30	<p>(資料1:将来都市像別政策)</p> <p>P6:商工業の振興</p> <p>①中心市街地の範囲が中通地区にこだわり過ぎており、現状の中通地区は古き良き時代をなくし、箱物をつくり上げ、結果として偏ったイベントになっている。南通地区の方が商店街の雰囲気があり、活性化しやすいのではないか。30代~40代前半までの市民・市職員が開発のメンバーとなり、若い世代に絞った商店街の構築、古い建物の保存、新世代中心のアート通りやショップ開発などを進めてはどうか。</p> <p>P12:移住の促進</p> <p>②方向性は理解できるが、もっと具体的な提案があっても良いのではないかと。例えば、ふるさと納税の有効活用、県外の学校卒で市内に就職した者やUターン、移住者に対する税制の優遇措置を提案する。学力No.1にもかかわらず、県外の大学に進学した若者が戻ってこないのはいかかなものか。</p> <p>③秋田県民の傾向は、競争心の低さや危機感の欠如による「甘え・慢心」、現状維持志向によるチャレンジ精神の乏しさ、まずは様子を見てからや上司に聞いてからという「行動の遅さ」である。</p> <p>「都市秋田」ではなく、「田舎町秋田」の発想でスピード感を持って、市民とともに活動すれば、きっと未来は明るくなると思う。(高齢者に重点を置き過ぎである。)</p>	<p>①③いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p> <p>②具体的な取組については、推進計画や秋田市総合戦略で反映させてまいります。</p>
31	<p>(資料1:将来都市像別政策)</p> <p>P8:雇用</p> <p>①新規学卒者の離職率が高いことについて、魅力のある職場を増やして欲しい。高齢者や女性が活躍できる就業機会とは、具体的にどのような事柄なのか。</p> <p>P15:住宅</p> <p>②空き家が放置され荒れているケースが多くなり、環境や風紀が良くない状況であることから、早期利活用を進めて欲しい。</p> <p>P22:家族や地域を支える絆づくり</p> <p>③【取組の方向】について、もっと具体性のある文章が欲しい感じがする。</p>	<p>①引き続き新規学卒者の離職率の抑制に努めてまいります。また、高齢者や女性の就業機会の拡大については、国や県の制度を活用しながら進めてまいります。なお、本市において4月から、女性に特化した創業補助金制度を創設しております。</p> <p>②いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p> <p>③記載内容を一部修正する方向で検討しております。</p>
32	<p>①空き家を解体し空地を除排雪地として利用</p> <p>②公務員が不祥事で退職した場合退職金を不払い</p> <p>③まちの美化のため道路上のゴミ拾いを町内会等に依頼</p> <p>④凶悪犯罪の防止のため、24時間営業の店をやめさせる(時短化)、警察官の夜間徒歩見回り(町内会連携)</p> <p>⑤公共施設の駐車場を広く取り(井戸等設置)、災害時の避難場所として利用</p> <p>⑥既存施設の活用、例えばセリオン隣の植物園</p> <p>⑦地域宣伝になるスポーツイベント、バラエティ番組ほか、メディア(テレビ、新聞等)への県人の露出・出演(青森、山形に見劣りする)</p>	<p>①空き地を雪捨て場として活用することについては、既に現行の制度(地域住民用小規模堆雪場)で対応しています。</p> <p>②不祥事で懲戒等免職処分を行った場合は、公務の遂行に及ぼす支障の程度を勘案し、退職手当等の全部又は一部を支給しないこととしております。</p> <p>③~⑦いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
33	<p>本市が国際的に誇れるものの一つに、国際教養大学があり、1期生として秋田ノーザンハビネッツの社長を輩出している。同大学の卒業生は秋田に残らないため無駄だという意見もあるが、本市に集まる県内外、国内外の学生に対し、支援する政策をお願いしたい。学力テストが全国トップレベルである秋田は、人材を育成する環境が整っており、内外を問わず学生が集まるような土壌を形成すれば、いつか必ず本市の活性化につながると思う。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
34	<p>(資料1:将来都市像別政策)</p> <p>P6:商工業の振興</p> <p>①企業誘致は積極的に進めていただきたい案件だと思う。本市の高齢化は、魅力的な就職先が少ないため、若者が県外へ転出してしまいうことも大きな原因だと思われる。</p> <p>P19:雪に強いまち</p> <p>②本市は雪国であるにもかかわらず、毎年除排雪の不満が聞かれる。他の地域のように、地下鉄や地下街がない分、きちんと除排雪をしないとイケないのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
35	<p>2040年に人口が23万5千人にまで減少した社会を支えるために、最低限度必要な市民サービスや社会インフラなどをどのように支えるのかという視点が全くない。成長云々は、それをベースとした上に成り立つ話であり、人口が減少した市民をどのように支えるかを最初に議論すべきだと思う。</p> <p>成長戦略云々や、こうありたいと考えるのは自由だが、正直、絵空事、空想に近いことを並べただけに感じる。取組の方向もどこかで聞き覚えのあるフレーズを並べているだけで、どのように実現しようと考えているのか全く見えないため、実現するとは到底思えない。</p> <p>企業でこのような企画書を提出したら、即却下である。現状こういう問題がある、将来さらにこういう問題が起きる可能性がある、だからそれに備えてこういうことをやる、スローガンを掲げるのではなく、あくまでも具体的に何をやるのかを考えて実行することが大切である。</p> <p>具体的な施策とは、「本社機能の移転を促進するために、税制面での優遇を実施する。具体的には、社員の市民税を〇%軽減する」「工業誘致に応じた企業には、法人税5%に相当する税の還元を実施する」などである。</p> <p>こんな企画書を書いて満足しているようでは、市政運営が満足なレベルでなされるとは到底思えず、任せることができない。</p>	<p>具体的な取組については、推進計画で反映させてまいります。</p>

No.	意見	市の考え等
36	<p>(資料2:成長戦略) P2:戦略2 重点プログラムⅠ・Ⅲ 市内に多くの史跡文化財、美術館・博物館等があるが、車のない人や観光客にとっては、アクセスが悪く不親切だと思う。 駅前周辺の「ぐるる」だけではなく、例えば土日だけ遠方方面行き（県立博物館、セリオン、奈良家、水心苑等）の巡回バスを設け、また、隣接市町村のブルーメッセあきた、ブルーホール、日本国花苑等、同一方向ということで連携するなど、県全体の活性化も考えた取組が必要なのではないか。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
37	<p>基本構想のため理想であり、政策として具体的なものがないことから、もう少し具体案の提示があるべきと思う。ストップ人口減少のためには何が必要か、少子高齢化時代、次世代の育成等も具体化されると分かりやすいと思う。</p>	<p>具体的な取組については、推進計画や秋田市総合戦略で反映させてまいります。</p>
38	<p>総合計画から取組、推進計画と骨子を細かく示されており、基本路線通りにスムーズに事が運ばれるよう希望する。町内会としても、少しずつ話し合い、今後の糧としていかなければと強く感じた。行政として市民に分かりやすい指導を強く望み、達成に向け、市民と行政が一体となり解決していかなければならないと思う。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
39	<p>全体的に具体的ではなく、一般論が記載されていると感じた。方向性としては理解できるが、具体的な施策まで落としてからでなければコメントできない。</p>	<p>具体的な取組については、推進計画で反映させてまいります。</p>